

# 万華鏡

甲府商業高校 図書室  
令和2年6月  
NO. 2

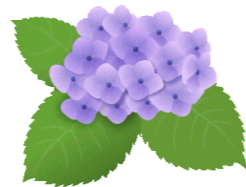
新型コロナウイルス感染症による休校状態が解除となり、ようやく5月から学校生活が再開となりました。朝の読書活動も始まり、図書室でも新着図書を多数揃えています。みなさんが読書を楽しみ、学びの場として、利用できる図書室でありたいと思っています。

## ● 図書室からのお願い

図書室ではコロナ感染予防対策として、換気や消毒を行い、密にならないよう配慮しています。

生徒のみなさんには図書室利用時、次のことにご協力をお願いします。

- ① マスクの着用。
- ② 手指の消毒(入口設置)の励行。



## 新着本紹介

『流浪の月』 凧良ゆう／著 東京創元社

書籍紹介：2020年本屋大賞

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。

『歩道橋シネマ』 恩田陸／著 新潮社

書籍紹介：秘かに都市伝説となった歩道橋を訪れた「私」が記憶と現実と世界の裂け目を目撃する表題作ほか、ホラー、SF、青春、ミステリーなどあらゆるジャンルの全18編を収録。

『平和のバトン』 弓狩匡純／著 くもん出版

書籍紹介：被爆体験証言者の記憶を、1年をかけて油絵に描いて記録する、広島の高校のプロジェクト。今を生きる高校生たちが、証言者と密に接することで、戦争や原爆を見つめなおしていくさまを綿密に取材して描いたノンフィクション。

『風の電話』 佐々木格／著 風間書房

書籍紹介：岩手県大槌町の高台に電話線が繋がっていない電話ボックスがある。遺族と亡くなった人の想いをつなぐ「風の電話」だ。その成り立ちから現在までの活動を、「風の電話」を立ち上げた著者自らの言葉で綴る。

『どん底からの甲子園』 タイムリー編集部／編 辰巳出版

書籍紹介：9人に満たない部員数、雑草だらけのグラウンド、ヤンチャな生徒たち、未曾有の災害…。困難を乗り越え、いかにして甲子園への切符を掴んだのか？ 様々な事情から「どん底」にしながら甲子園に出場した6校を紹介する。弱小、暴力事件、災害…苦難をバネにした選手や指導者たちのドキュメント!

『発注いただきました!』 朝井リョウ／著 集英社

書籍紹介：キャラメルが登場する掌編、「ウイスキーっておもしろい」を伝えられる小説、「女性と香り」にまつわるミニエッセイもしくは小説…。企業からのお題をもとに書いた作品を、解説とともに収録する。「キャラメルが登場する小説」「人生の相棒をテーマにする短編」「ウイスキーにまつわる小説」「20を題材にした小説」など、短編小説十四本、エッセイ六本。

『あたしたち、海へ』 井上荒野／著 新潮社

書籍紹介：楽しいことはいつでも、三人一緒のはずだった。クラスであれが始まるまでは。大人には見えない、少女たちの孤独な魂にそっと寄り添う物語。

★『ドミノ in 上海』 恩田陸著 KADOKAWA

★『ノースライト』 横山秀夫著 新潮社

★『中西進の万葉みらい塾』 中西進著 朝日新聞出版

★『清く貧しく美しく』 石田衣良著 新潮社

★『すごいぞ! はたらく知財』 内田朋子他著 晶文社

★『人をつくる読書術』 佐藤優著 青春出版社

★『流星コーリング』 河邊徹著 KADOKAWA

★『太陽はひとりぼっち』 鈴木るりか著 小学館

★『未来を生きるスキル』 鈴木謙介著 角川出版

★『雲を防ぐ』 伊吹有喜著 文藝春秋

★『業界別 AI 活用地図』 本橋洋介著 翔泳社

★『なぜ僕らは働くのか』 佳奈著 学研プラス

★『震災と向き合う子どもたち』 徳永博志著 新日本出版 など…

# 随時 リクエスト本 受付中!!